

アーク溶接特別教育受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 桧山昇子

1. はじめに（目的等）

広島大学西条ステーション（農場）では農場内の施設を修繕および新規に設置するため、アーク溶接を用いることがある。アーク溶接は容易に作業できる一方、適切に使用しなければ重大な怪我や事故に繋がる。そこでアーク溶接を安全かつ正確に扱う知識・技術を取得するとともに、作業者としての資格を得ることを目的として、アーク溶接特別教育を受講した。

2. 期間・場所

期間：令和7年1月28日～1月30日

場所：コベルコ教習所広島教習センター西条会場

3. 参加者等

4名

4. 研修内容

学科教習

- ・アーク溶接に関する知識
- ・電気に関する基礎知識
- ・装置および作業に関する知識
- ・災害防止および災害事例
- ・関係法令

技能講習

- ・アークの出し方
- ・ビードおよびウィービングビードの置き方
- ・水平すみ肉溶接

5. まとめと感想

学科講習ではアーク溶接に関わる基礎知識から災害事例、そして関係法令について学んだ。危険性について過去の事故事例から学び、10個の事例のうち8個が感電に関わる事故であったため、特に感電に注意しつつ作業を行っていきたい。また、これから行う自分の行動及び周りの環境からどのような危険性が潜んでいるのかを考え、慎重に作業を行ってきたい。

実技ではまず、ビード及びウィービングビードを置く練習を行った後、水平すみ肉等を使用する1つの作品を作った。ビードを置く際に意識する点について座学で理解していたものの、特に水平すみ肉ではその全てに意識して作業を行うことができず、欠陥が多くできた。今後は今回学んだコツや注意する点を意識して作業を行っていきたい。